

Claims Solutions, Marsh Advisory

地震損害における 保険金回収の最大化のために

2022年3月16日、マグニチュード7.3の強い地震が福島県沖で発生しました。この度の地震により被災された多くの皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

本地震による影響の詳細はまだ不明ですが、クレームズソリューションズ、マーシュア
ドバイザリーでは、この度損害を受けたお客様に向け、保険金請求に関わるガイド
ンスを御用意いたしました。

やるべきこと (可及的速やかに)

- **財物の保護** 損失を最小限に抑え、軽減するための手段を講じる。例えば、損害が拡大し、社員や近隣住民の安全に重大な危険を及ぼす恐れがある場合には、緊急対策工事を行います。防火対策が被害を受けている場合は、至急の対応が求められます。
- **通知** 保険会社が損失を認識できるよう、通知手続きを行います。マーシュの担当者及び／またはクレームコンサルタントに御連絡下さい。実際の現場調査においては、保険会社が鑑定人(ロス・アジャスター)を任命し、実施するケースが多くあります。
- **損害の記録** 写真やビデオ映像によって、損害の状況を記録してください。これができない場合は、書面による記録をします。

やるべきこと (最初の事故対応後)

- **損害物の救済(サルベージ)** 安全確保の上、破損品の適切な確認をします(破損品の中には、詳しく調査しないと全容が見えず、判明しないものもあります)。破損していない物と破損した物を分け、修理可能なものを分別します
- **損害品の保全** 可能な限り、損害を受けた財物は、鑑定人(ロス・アジャスター)の検査完了後までは処分しないようにします。
- **損害請求費用の紐づけ** 事故時対応特別作業指示書、作業管理番号、その他の会計処理を設定することで、すべての損害請求費用を特定し把握することができます。
- **修理または交換** 損害修理範囲については、鑑定人(ロス・アジャスター)の合意が得られるようマーシュが協議し、修理費用の認定に反映されるようサポートします。修理や交換の費用については、競争力のある見積もりを入手しましょう。修理費が1,000万円を超える可能性がある場合は、修理業者3社からの見積もりを取ることをお勧めします。

注意事項

- 本社および／またはマーシュへの報告を速やかに行ってください。
- 可能な限り、保険会社の同意なしに損害を受けた物品の処分をしないでください。
- 保険会社の同意なしに、緊急でない修理や交換を開始しないでください。これは、保険金請求の金額について疑義が生じる可能性があるためです。

マーシュクレームズソリューションズの役割

アジアクレームズソリューションズのフォレンジックチームは、自然災害による物的損害や事業中断の損害請求を準備する経験豊富な専門家です。マーシュのフォレンジックチームは、保険会社やその代理人（上記のロスアジャスターを含む）との交渉段階において、損害請求準備作業をサポートすることに長けています。

地震が発生すると、保険会社は大規模な専門家チームを組成して調査し、請求額を下方修正することが多いのが事実です。私たちは、経験豊富なフォレンジック・アカウンタントを用いて損害請求を準備することで、お客様の立場からご支援します。私たちの第一の目標は、保険契約条件に基づいて保険金支払いを最大化することです。

今回の地震は、世界中のリスクに対応するための準備と復旧計画の必要性を改めて浮き彫りにしています。上記のステップを元に、お客様が損失を最小限に抑え、保険による経済的回復を最大化するお手伝いができれば幸いです。

マーシュのクレームズソリューションズジャパンには豊富な実績があり、地震損害に関するお問い合わせや保険金請求を迅速にサポートする体制を整えています。

ご不明点・ご連絡先

マーシュジャパン (株) | Marsh Japan, Inc.
堀口 克己 | Katsumi Horiguchi
クレームチームリーダー | Japan Claims
Team Leader | Claims Solutions, Claims
Advisory

Glenn Eaglestone
Consulting Director
New Business Leader Asia |
Claims Solutions | Marsh Advisory
T +65 6922 8359 | M +61 422 234 930
glenn.eaglestone@marsh.com

About Marsh

保険仲介とリスクマネジメントの世界的リーディングカンパニーであるマーシュは、約45,000名の従業員が130か国でデータに基づくリスクソリューションとアドバイザーサービスに従事しています。マーシュは、リスク、戦略および人的資本の分野におけるグローバルなコンサルティング・ファームであるマーシュ・マクレンアン（ニューヨーク証券取引所上場：MMC）の一員です。マーシュ・マクレンアンの年間総収入は約200億米ドル、マーシュのほか、ガイ・カーペンター、マーサーおよびオリバー・ワイマンを傘下に各分野で業界をリードし、お客様を支援しています。詳細情報についてはmarsh.com, LinkedIn, Twitter をご覧ください。マーシュ・マクレンアンは情報提供ツールBRINKを運営しています。

本書（当社が行った提言、分析または助言がある場合はこれらを含み、以下総称して、「当社の分析等」といいます）は、個別の状況に対する助言として理解されることを意図するものではなく、またそのように依拠されるべきものでもありません。本書に記載の情報は、当社が信頼に足ると考える情報源に基づくものでありますが、正確性について当社は何らの表明または保証をするものではありません。当社は、当社の分析等を最新のものに更新する義務を有せず、本書をお読みの方または他の第三者に対して、本書に記載のいかなる事項についても何らの責任も負いません。保険数理、税務、会計または法務に関する記載があっても、それらは当社の保険ブローカー/代理店およびリスクコンサルタントとしての経験のみに基づくものであり、保険数理、税務、会計または法務に関する助言として依拠されるべきものではありません。それらの問題については、本書をお読みの方が各自で専門家・アドバイザーに照会頂く必要があります。当社の分析等における数理的モデル、分析または予測は、それぞれ固有の不確実性を有しており、基礎となる仮定、条件、情報または要因が不正確、不完全または不確定である場合、当社の分析等は相当の影響を受ける可能性があります。当社は、保険約款の適用または保険会社（再保険会社を含む）の財政状態もしくは支払余力について何らの表明や保証をするものでもなく、また特定の補償内容が入手可能かどうかもしくはそのコストまたは契約条件につき、何らの保証をするものでもありません。当社の助言または推奨の有無にかかわらず、保険による補償の金額、種類または条件についての意思決定は、最終的には保険契約者の責任においてなされるものであり、当該保険契約者が特定の状況および財政状態に適した補償内容を定める必要があります。

本書の全部または一部の無断開示・複写・複製・転載等を禁じます。